

事業概要

モデル事業名	プロボノを活用した被災地支援 ～気づきと創発を生む仕組みとコミュニティ作り～
分類	<input type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> 重点化枠 <input checked="" type="checkbox"/> 震災対応案件
事業実施主体名	ミンナ DE カオウヤ
実施期間	平成24年9月3日～平成25年3月31日
支援額	3,499,500円
マルチステークホルダー（会議体）の取組状況	大阪市民政局、特定非営利活動法人場とつながりラボ home's vi、積水ハウス株式会社、株式会社インサイト、株式会社ミライロ
目的・趣旨	①専門的能力を持った人材（プロボノ）が、被災地支援に関わるモデル事例作り ②専門的能力を持った人材（プロボノ）が、被災地支援を行うための気づきと創発を生む仕組み・支援コミュニティ作り
事業内容	①モデル事例作り第1クール（ミンナ DE カオウヤ） 1）課題を持った福祉事業所の抽出 ・ミンナ DE カオウヤの活動を通じて得た情報の中から、具体的な支援課題（商品開発、商品の販売促進、品質管理など）をもった福祉事業所を抽出します。 2）支援の実施 ・本テーマに関わる専門的能力を持った人材を募集の上、事前ミーティングを行い、支援の方向性を決定します。 ・その後、現地で個別課題に対し、上記人材が専門能力を生かした支援を行います。 ・大阪に戻った後、ワークショップや打ち合わせで振り返りを行い、東北の福祉施設に対して具体的な提案、実行支援をおこないます。 ・また、実際に支援を行った結果を踏まえ、どう感じたか？、今後自分たちで何が出来るか？、専門的能力を持った人材が自身の会社内で今後どのような活動が出来るかなどについて考えます。 3）報告会の開催 ・1）～2）の結果を元にした報告会を行います。 ・この時の参加者の中からモデル事例第2クールを担う、専門的人材や企業の立候補を募ります。

②モデル事例第2クールの実施（障害者配慮型防災計画）

1）被災時の障害者の置かれた状況を視察

・被災地においては、多くの障害者の方が亡くなったり、避難所に入れず、大変つらい思いをされました。その背景として、障害者に配慮した、防災や支援のあり方が確立していなかったためと考えられます。今後大阪で災害が発生した場合にも同様の事態が発生する可能性が高いと思われます。したがって、障害者の方々に配慮した防災計画・防災のあり方が大変重要になってきますが、こういった支援は、ハード面だけではなく、災害が発生した時に、どう行動するか、といったソフト面からのアプローチや、様々な関係者・専門家の知見を持って検討を進める必要があります

・そこで、建設・建築メーカー、ホテルやアミューズメントなどサービス業、ユニバーサルコンサルティング会社、障害者を抱える福祉事業所等の専門的能力を持った人材（コーディネータ含め10人程度）が専門的観点を持って視察します。

2）、3）支援の方向性決定、創発を生むワークショップの開催

モデル事例第1クールと同様、支援の方向性の決定、創発を生むワークショップを進めながら、課題の解決、創発を生みます。最終的に、モデル第1クールを実施したグループと一緒にワークショップを行います。

③合同報告会・成果発表会の実施（3月11日予定）

モデル事業第1クール、第2クールでブラッシュアップされた商品の販売や防災企画・冊子のお披露目を行う事で、一般の市民の皆様は活動内容を知って頂いたり、今後の活動に生かして頂きます。

また、支援プロセスの開示、成果の報告を行う事により、活動内容を一般の市民の皆様に加えて、専門的能力を持った人材、組織に知ってもらうことで、支援活動の輪を広げていきます。

同時に、

1）専門的能力を持った人材の募集

2）支援課題を持った組織の募集依頼

を行います。

なお、合同報告会、成果発表会は、昨年度大きな注目を集め、今年度も実施する予定の3.11 from kansaiを活用することで、たくさんの方々の関心を集め、より広がりを持たせる事が可能になると考えられます。

（イベントの市民の皆様への告知や運営は、ミンナ DE カオウヤの協議体に参画する、大阪市民局をはじめとした各団体、3.11 from kansai の実行委員会メンバーや大阪ボランティア協会と共に実施していきます。）

④HP や SNS を中心とした情報共有・情報発信

1) 支援プロセスの開示、成果の報告や、専門的能力を持った人材の募集、支援課題を持った組織の募集依頼は特設 HP や SNS を活用して広く告知します。

2) また、SNS を通じて、支援者同士が議論をしたり、情報を共有したりして、創発が生まれやすい環境を構築します。

※HP の作成、情報の掲載、SNS などの活用に関しては、HP に強みを持つ高玉デザイン事務所に発注予定であり、都度継続会議を持ちながら、進捗確認を行っていきます。